

対象学年

高等学校1~3年

時間数

9時間

中学生に自分たちの高校をアピールしよう

母校紹介ポスターの作成



江守恒明
富山県立大門高等学校

使用ソフト&ハード

Windows2000
Adobe Photoshop
Elements
デジタルカメラ

使用した物

提案ワークシート
ポスターイメージの下書き
評価シート
中学生による外部評価用
webページ

身についたこと

ポスターとは何か、掲載すべき要素や必要な情報、効果的なレイアウトイメージ等について理解すること
自分たちの意図したことを、どうすれば相手に印象深く伝えることができるかという検討を重ねること
デジタルな写真やイラスト、文章やタイトルロゴなどを組み合わせて、幅の広い表現力

実践概要

教科「情報」として、美術科との違いを明確にするため、ポスターに掲載すべき要素や必要な情報について十分考えさせ、ポスターとは何かという点を追求した。制作は、話し合いを踏まえ、手書きの下絵、写真撮影を経て、写真加工やロゴ制作を行い、全体のレイアウトを整え完成させた。話し合いでいかに相手に印象深く伝えるかを常に意識させたことが、生徒のコンピュータ操作スキルと表現力の向上につながった。また、最終的な評価に実際の中学生による客観的な評価を取り入れることで、取り組みの真剣さが増した。

活動の流れ

1 学校紹介ポスターに必要な情報を考える

ポスターとは何かを考えることから始め、実際のちらし・パンフレット・ポスターからその違いや特徴について考えた。その後、掲示されたポスターについての情報（広告主、予想される掲示場所、ターゲット、メインビジュアル、キャッチコピーなど）を見つけ、工夫している点や自分の気に入っているところを批評文としてまとめさせた。

これまで、何気なく見ていたパンフレットやポスターを、作る側の視点に立って分析します。今回取り組みテーマは「母校のPR」ですから、他高校の実際のポスターなども検討するといいかもれません。

2 構想(下書き絵)を立て、班内で検討する

「大門高校のポスターを作ろう」と題する提案ワークシートを文章処理ソフトで各自制作。必要要件（広告主、掲示される場所、ターゲットなど）・このポスターで伝えたいこと・素材・構成など、ポスターづくりに必要な情報を記入して印刷した。その後、これを元にポスターイメージを紙に下書き。

下書きイメージは、実際のポスターの土台となるので、大変重要です。この段階で、色合いや写真の位置や大きさ、タイトルロゴなどを詳細に決めておくと、あとのポスター制作がスムーズになります。

3 制作(情報収集・写真撮影・レイアウト編集等)をする

白紙に文字や写真のレイアウトを考えて、下絵を完成させた。ここまでで十分な検討をしておくことが実際のポスターの出来を左右する。

ポスターに利用する写真は、自分で撮影することを原則とし、他人の写真を利用する際には、直接申し出をさせました。学校行事等の写真は、学校で所有しているものを利用させました。ソフトについての操作講習は特に設けず、【フォント】:【色】:【レイアウト】に関する簡単な講義を入れてポスター制作のヒントとなるようにし、あとは個別の「こんなふうになりたい」という要求に対応しました。

4 完成ポスターの発表・評価会

ポスターの完成後は、発表準備ワークシート(伝えたいこと、工夫した点、感想など)を書かせ、決められた時間(発表時間40秒)で発表した。ここでは相互評価ワークシートを配り、短時間の発表ながら、よかった点、改善する点を1行程度書かせた。

授業終了後、相互評価ワークシートの改善点をまとめ、ポスターを改善する資料として各グループに配布しました。その後、ポスターの再編集を行い、完成したポスターは企画書を添えて出身中学校に配布することにしました。一定期間掲示していただいた後、中学生からの評価も回収しました。

Information

『ILA(アイラ)カンファレンス2003』で
パンフレット制作

特定非営利活動法人(NPO)インターネット・ラーニングアカデミー(ILA)主催のカンファレンスにて、「パンフレット制作を通じた情報教育」2セッションを開催します。

<セッション1>ワークショップ:画像編集ソフトで情報活用の実践力を育てる!

日時:7月28日(月)13:00~17:00 定員:50名
参加費:2,500円(ILA会員)3,000円(非会員)

<セッション2>討論:画像編集ソフトを使った情報教育の評価と実践

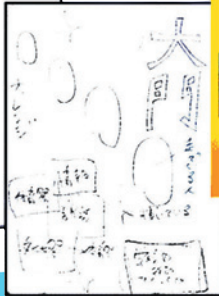
日時:7月29日(火)13:00~16:00 定員:90名
参加費(基調講演を含む一日入場料):1,000円(ILA会員)1,500円(非会員)

ともに会場は早稲田大学国際会議場

詳細は、www.ila.or.jp お問い合わせは、電話03-5574-8683、またはメールにてinfo-conf@ila.or.jpまで。



提案ワークシート



下絵



完成作品

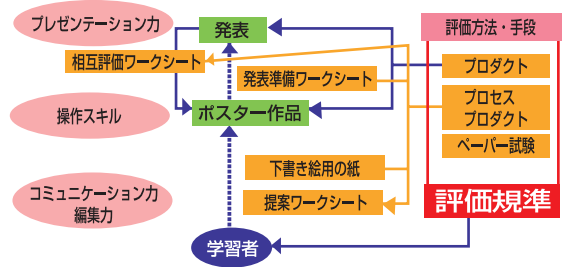
きらめく光をグラデーションで表現し、校歌をキャッチコピーに、走る生徒を未来へ広がる学校のイメージに重ねている



施設を紹介するだけでなく、メインビジュアルに学校の花や生徒を使い、キャッチコピーや配色に自分の考える学校のよさを伝える工夫がある

ポスター製作の評価規準（抜粋）

関心・意欲・態度	ポスター制作に必要な学校の特色を見つけようとする。 互いの意見を尊重しながら、よりよいポスターを作ろうとする。
思考・判断	伝えたい内容をわかりやすく表現するための工夫をする。 個人情報取扱いや著作権などについて配慮する。
技能・表現	多様な形態の情報を統合することにより、自分の意図した内容を表現する。 実習において計画を立て、それに基づいた活動を行う。
知識・理解	情報機器やソフトウェアによる表現方法の特徴について体験的に理解している。 成果物を評価し、改善するための基本的な方法を理解している。



スキル学習に止まらない、ねらいや評価の明確な「情報」の実践！

既存のポスターやチラシ、パンフレットを分析することで、そこに盛り込まれた「情報」を意識させるところからはじめ、ポスターの計画案からラフスケッチ（下絵）まで十分に検討しながら行っています。中学校による外部評価、独自に設定した評価の観点も魅力です。ポスター制作にはデザインセンスや色彩センスも問われますが、美術教員の支援を仰ぐなど、妥協しない取り組みとなっています。デジタルデザインの特色でもある「やり直しが何度でもできる」という利点を生かし、放課後にコンピューター室を開放して、生徒たちの納得がいくまで作品づくりが行われたことも見逃せません。

また、一般的には「画像編集ツール」である「Photoshop Elements」をDTPソフトとして使い、多重レイヤー機能やタイトルロゴ作成機能、透過処理、グラデーション、写真の切り取りからイラストの描画まで、すべて1つのソフトでシームレスに行っています。これに慣れば、高価なDTPソフトを使う必要も無く、行間に悩まされるワープロソフトよりも格段に操作性は良いでしょう。

「待っているだけで中学生が受験しにきてくれる時代」は終わりました。そのような状況の中で、本実践のような取り組みは、高校受験生の意識を高揚させるに違いありません。



Dproject 統括補佐 豊田充崇
和歌山大学教育学部附属
教育実践総合センター

『D-project情報教育ワークショップin熊本』開催

レクチャーではなく、参加型の情報教育研究会です。このワークショップを通して

1. コンピュータのスキルアップ
2. プロジェクト学習のすすめ方のノウハウの獲得
3. 授業実践のアイデアの共有を行います。

日時：8月4日（月）12:30 ~ 8月5日（火）14:00
会場：アークホテル熊本
定員：52名
参加費（材料費等）：5,000円（宿泊が必要な方は別途宿泊費）
詳細は、www.d-project.jp/event/ お問い合わせは d-project@event-info.com まで



写真はイメージです